

「本人中心の支援を進めよう ～誰もが地域で暮らし続けるために」

2011年3月11日に発生した東日本大震災は宮城県をはじめとして、広範囲にわたり大きな被害を出しました。

サポート研の会員である仙台つどいの家も施設の移転、再建を余儀なくされましたが、今夏新しい場所・建物で再スタートする運びとなりました。当会はつどいの家の復興の歩みに敬意を表し、この節目の時を祝して、仙台でのセミナーを開催することといたしました。

私たちはこのたびの大規模災害のような状況下では、障がいのある方に対してより多くの支援が必要であること、日常的な支援の継続が必要であることを実感させられました。それはまさに利用者を中心として、その不安や悲しみ、夢や希望に寄り添い、地域や社会の中でエンパワメントしていく支援であると考えます。

仙台の地で、多くの仲間や関係者とともに語り合い、学び合うことを通し、変わらぬ支援のあり様を共有確認し、発信する機会としたいと思います。どうぞ奮ってご参加ください。

- ◆日時：平成25年9月21日（土） 12:30～16:30
- ◆会場：仙台市宮城野区文化センターパトナシアター
宮城野区五輪2丁目12番70号（JR仙石線 陸前原ノ町駅すぐ）
- ◆参加費：2000円（サポート研会員は1000円）
- ◆定員：180名
- ◆締切：平成25年9月14日（土）※定員になり次第締め切ります。

◆地図



【講演】

テーマ：「いのち輝くとき

～どんなに障がいが重くても意思を尊重した支援を～」

講師：下川 和洋氏（NPO地域ケアさぼーと研究所・東京）

【実践報告】

テーマ：「重症心身しょうがいの者の意思に寄り添った日中活動支援」

報告者：大塚 貴司氏（つどいの家・アプリ・宮城）

【シンポジウム】

テーマ：「実践から語る“本人中心の支援”

～誰もが地域で暮らし続けるために～

シンポジスト：下郡山 和子氏（仙台つどいの家・宮城）

清水 明彦氏（西宮市社会福祉協議会・兵庫）

下川 和洋氏（前掲）

コーディネーター：本庄 一聖氏（武蔵野市みどりのこども館・東京）

【当日のスケジュール】

- 12:00 受付開始
- 12:30 開会あいさつ 赤塚光子（当代会長）
- 12:45 講演
- 14:00 実践報告
- 14:30 休憩
- 14:45 シンポジウム
- 16:30 閉会

【申し込み・問い合わせ】

当会事務局 TEL/FAX 044-271-8788

E-mail support-ken@forest.ocn.ne.jp 担当 村尾

仙台つどいの家 TEL 022-293-3751

FAX 022-293-3752

申	サポート研会員区分	会 員		非 会 員		(いずれかを○で囲んでください)		
	お名前							
込	所属事業所名				県名			
欄	連絡先	TEL				FAX		
		E-mail						

このままFAX して下さい。 044-271-8788 (サポート研事務局宛て)

サポート研 (NPO全国障害者生活支援研究会) 仙台セミナー (9/21) 申し込み用紙

申込日 平成25年 月 日

お名前

所属事業所名(県名を入れてください)

連絡先 電話

メール

サポート研会員区分 会員である ・ 会員でない

問い合わせ・申し込み

<全国障害者生活支援研究会 (サポート研) 事務局> 担当 村尾

〒210-0848 神奈川県川崎市川崎区京町2-24-4-608 TEL/FAX 044-271-8788

E-mail support-ken@forest.ocn.ne.jp ホームページ <http://support.ryoiku-c.com/>

<仙台つどいの家>

〒983-0836 宮城県仙台市宮城野区幸町3丁目12-16

TEL 022-293-3751 FAX 022-293-3752

【講師紹介】

- 下川和洋さん 福岡県久留米市生まれ。都立養護学校教員として医療的ケアのある子供と多く関わり、エキスパートに。現在は痰の吸引研修講師を始め、医療的ケアの普及理解のため、全国を飛び回っている。
- 清水明彦さん 西宮市社会福祉協議会事務局長。青葉園での実践を経て、障がいのある方を中心に据えた「本人中心計画」を提唱し、地域生活支援を実践している。総合福祉部会メンバー。阪神大震災経験者でもある。
- 下郡山和子さん 社会福祉法人つどいの家理事長。重症心身しょうがい者の通所支援を経て、地域生活支援全般をカバー。意思を大切に、丁寧な取り組みに定評がある。障害のある子を育てた母でもある。

なおご不明の点などありましたらサポート研ホームページからメールにてご連絡ください。